

各位

会社名 株式会社BTM  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 田口 雅教  
(コード番号: 5247 東証グロース市場)  
問合せ責任者 取締役兼 CFO 懸川 高幸

## 2025年3月期第1四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2024年8月13日（火）に発表した2025年3月期第1四半期決算に関して、当社で想定していました質問並びに発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問合せ内容をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

### 質問 1

売上高が前年同期比で+27.4%と大幅に増収していますが、主な理由は何でしょうか？

### 回答 1

当社へのDXニーズは今期も継続して堅調に推移しております。ITエンジニアリングサービスを中心に前期からの継続案件に加え、新規案件の獲得もあり、第1四半期として過去最高の売上高を達成することができました。

当社が重要KPIとしている「営業人員数」、「アカウント数」、「自社エンジニア数」のいずれも計画通りに進捗しており、新規の案件獲得に繋がっていることが要因の一つと考えております。

2025年3月期 第1四半期 決算概要		BTM	
P/Lサマリー			
売上高は前年同期比+27.4%増の12.2億円、Q売上では過去最高を達成 人材投資などにより販管費は増加しているものの、大幅増収により営業利益も大幅増益に			
(単位:百万円)	24/3期 1Q	25/3期 1Q	前年 同期比
	額	額	
売上高	961	1,224	+27.4%
売上総利益	162 16.9%	189 15.4%	+16.3%
販売費及び一般管理費	132 13.8%	153 12.6%	+16.0%
営業利益	30 3.1%	35 2.9%	+17.5%
経常利益	28 3.0%	34 2.8%	+20.9%
四半期純利益	19 2.0%	23 1.9%	+19.5%

## 質問2

25年3月期は成長投資をされるとお聞きしていますが、1Qの営業利益の対通期予想進捗率は47%です。2Q以降に投資をされるとのことでしょうか？業績予想修正はしないのでしょうか？

## 回答2

25年3月期は来期以降の成長に向け、内部への投資をおこなう期と位置付けております。自社エンジニア増員に向けた待遇改善、営業人材・幹部人材の増員、営業体制強化のためのコンサル導入、マネジメント層向けの研修導入等の投資は計画通り進めております。

一方で、この投資を増収により吸収でき、前年同期比+17.5%、通期予想に対する進捗率も47%と想定より上振れて進捗しています。2Q以降も投資を続けるため、現時点において業績予想は変更なし、としておりますが、修正すべき事項が発生しましたら速やかに開示をいたします。

		2025/3期1Q 実績		2025/3期 予想		進捗率
(単位:百万円)		額	率	額	率	
売上高		1,224	-	4,629		26.4%
営業利益		35	2.9%	75	1.6%	47.0%
経常利益		34	2.8%	70	1.5%	49.6%
当期純利益		23	1.9%	48	1.1%	47.8%

Copyright 2024 BTM, Inc. All Rights Reserved. 6

## 質問3

自己株式の取得をした理由について教えてください。

## 回答3

8月13日に開示しました通り、経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を可能とするためです。

当社が積極的に取り組んでいるM&A戦略においても、選択肢を増やすことに繋がると考えております。

#### 質問4

地方銀行との業務提携など多くリリースをしていますが、地方銀行と提携することにより、御社の事業にどのような影響があるのでしょうか？

#### 回答4

当社は「日本の全世代を活性化する」というミッションを掲げ、全世代の人々が生き活きと暮らせる世の中の実現を目指しています。そのため全国10か所に拠点を有し、地方企業のDXを推進しております。八十二銀行様経由で受注した長野県下の有力企業である武重商会様のように、地方銀行からご紹介頂くことで、これまで以上に地方企業のDX推進に貢献できると考えております。

2025年3月期 第1四半期 トピックス 

トピックス4 金融機関との連携による実績

**長野県下の有力企業武重商会より  
受発注システムの開発を受注** 2024/6/6プレスリリース\*

 **BTM** 株式会社 **武重商会**  **八十二銀行**

2023年2月24日付で株式会社八十二銀行との間で締結した  
「顧客紹介に関するビジネスマッチング契約」に係る第1号案件

武重商会は ENEOS グループの特約店として長野県下に給油所14店舗を展開、給油以外にも車検やレンタカーといった車関係のサービスを提供する他、不動産、電力小売等車関係以外でも幅広い事業を行っています。

この度の受注は、同社の現行の受発注システムのサーバ環境や開発言語等様々な面で継続が困難となってきたこと、同社自身の新規開発も難しいことからメインバンクである八十二銀行に相談したことがきっかけとなりました。

その後前述の契約から当社が相談を受け、複数回の提案活動を経て成約に至ったものです。

※:2024/6/6 PR情報 「BTM 長野県下の有力企業武重商会より受発注システムの開発を受注」を参照  
Copyright 2024 BTM, Inc. All Rights Reserved.

13

以上

< 参考資料 >

[BTM 2025年3月期第1四半期決算説明資料  
決算動画配信](#)